

すりつけを工夫し、歩行者の通行に配慮



事故の多い箇所へのハンプ設置で合意



## 02.福岡県久留米市 (南地区)

### 広域図



背景の地図の出典：国土地理院

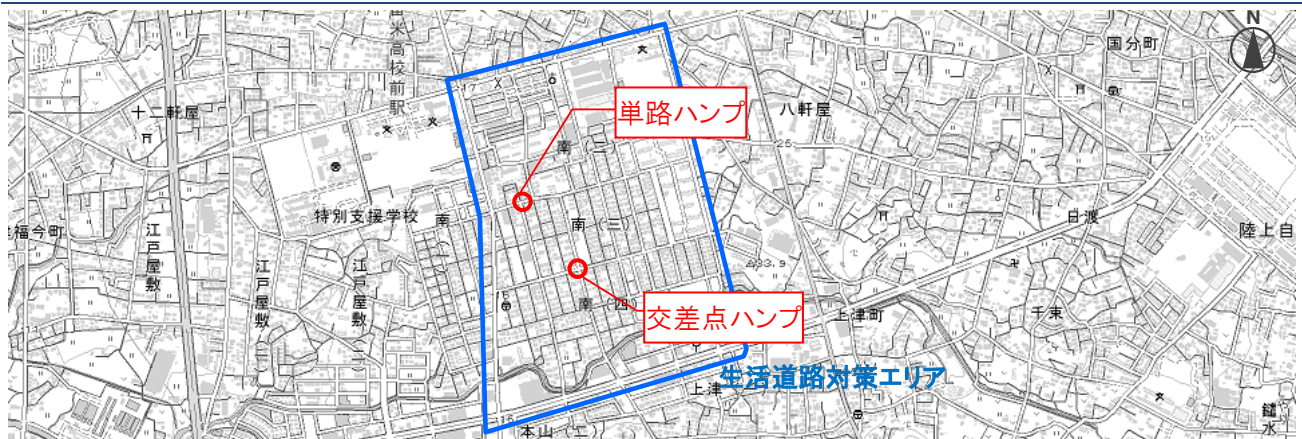
登録状況	生活道路対策エリア(区域)
対策の内容	ハンプ設置 ゾーン 30 他
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国道 3 号や主要な県道、市道からの迂回交通が多く、走行速度が高い</li> <li>▶ 校区コミュニティ組織及び関係機関と協力し、設置</li> </ul>

設置の  
特徴

## すりつけを工夫し、歩行者の通行に配慮

## ハンプの概要

## 設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

## 設置内容

	内容	備考
設置箇所数	2箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>単路ハンプ 1箇所</li> <li>交差点ハンプ 1箇所</li> </ul>
設置時期	2017年10月	
ハンプの形状	<b>【単路ハンプ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>平坦部の長さ 2m</li> <li>ハンプの高さ 10cm</li> <li>傾斜部の勾配 平均 5%</li> </ul> <b>【交差点ハンプ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>平坦部の長さ 交差道路幅</li> <li>ハンプの高さ 10cm</li> <li>傾斜部の勾配 平均 5%</li> </ul>	技術基準を参考
構造及び 付属施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>アスファルト舗装</li> <li>傾斜部のカラー化</li> <li>路面表示、警戒標識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既設舗装を剥ぎ取り3層で舗装</li> <li>薄層カラー舗装 (樹脂系すべり止め舗装)</li> </ul>
技術的な工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆既設路面へのすりつけを道路端部(官民境界)で行うことで、路側帯での横断方向の勾配が発生しない形状とし、歩行者及び自転車の通行に配慮</li> <li>◆歩車道境界若しくは道路端の側溝上も併せてハンプとして嵩上げを行い、歩行者及び自転車通行に配慮</li> <li>◆施工承諾により、端部は民地の塀、花壇構造物を直接、舗装止めとした</li> <li>◆路面の段差による騒音・振動が発生しないよう、ハンプ設置範囲全面及びその前後の表層を一旦撤去し、路盤を整形した後ハンプとなる部分を基層、中間層として構築し、表層を重ねるように施工</li> <li>◆交差点ハンプは、平坦部と傾斜部を別の色で着色し、視認性を考慮</li> </ul>	

# 設置状況

単路ハンプ



概観



路面表示と警戒標識



側溝上も併せて盛り上げ

交差点ハンプ



概観



通行状況

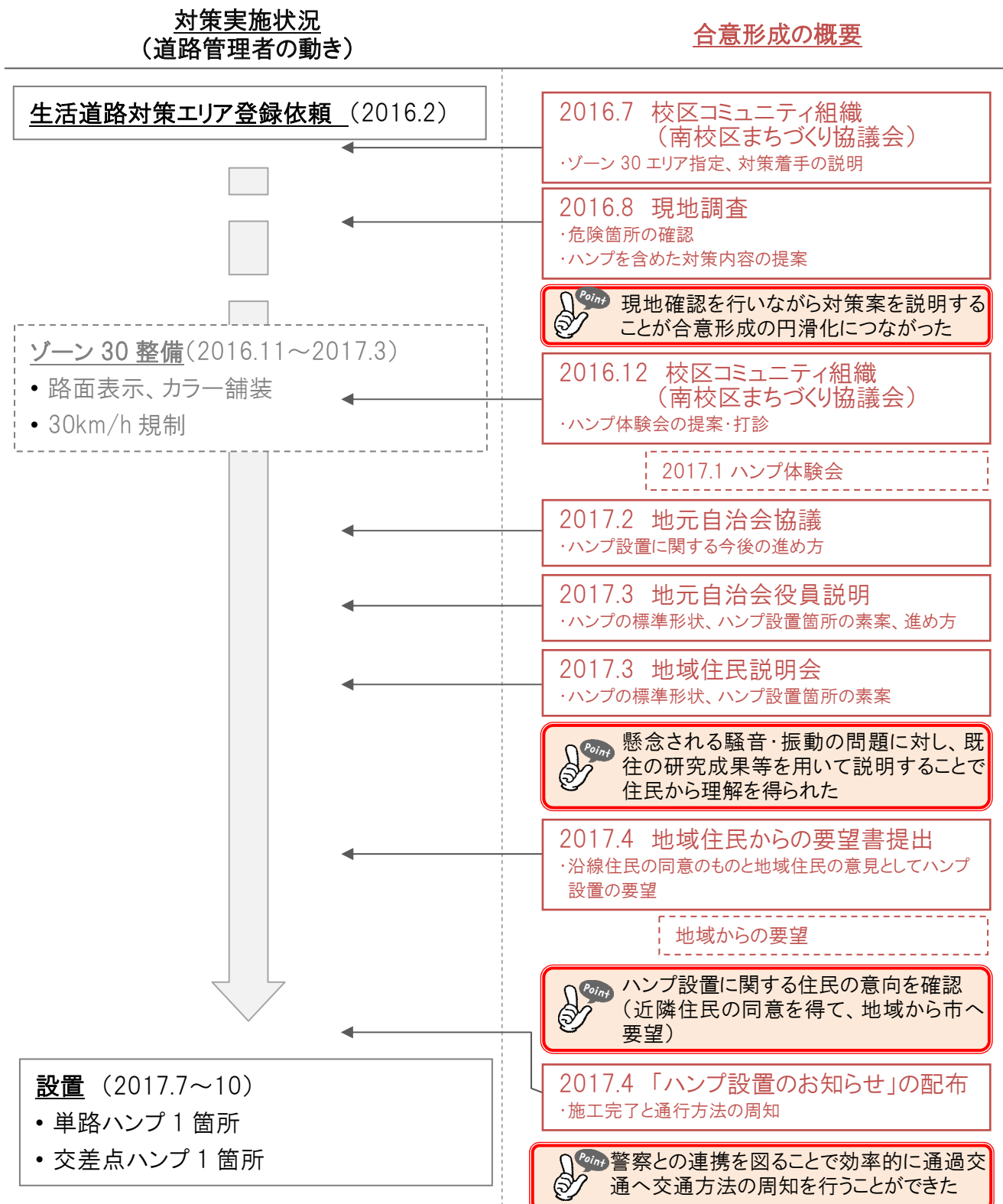


傾斜部の形状


合意形成  
のポイント

# 事故の多い箇所への ハンプ設置で合意

## 対策実施状況と合意形成の概要



## PDCA 中での合意形成の内容とポイント

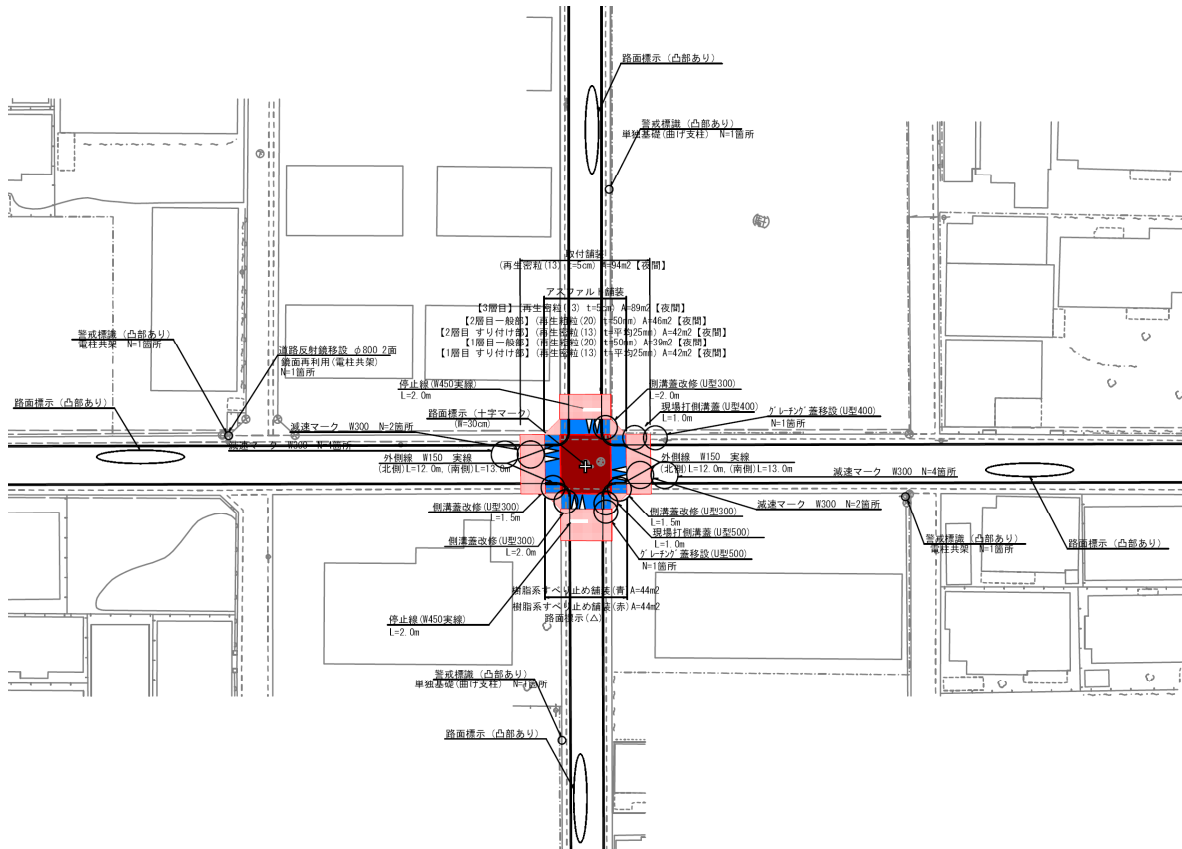
段階	説明手法・内容	道路管理者の考える合意形成のポイント 
現況調査 計画策定 <Plan>	❖ 校区コミュニティ組織(南校区まちづくり協議会) 実施日 2016年7月19日 参加者 校区役員 提示資料 ゾーン30エリア指定の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現地確認を行いながら対策案を説明することが合意形成の円滑化につながった</li> <li>• 地元自治会長と一体となって進めることで円滑に地元説明を進めることができた</li> <li>• 懸念される騒音・振動の問題に対し、既往の研究成果等を用いて説明することで、理解を得られた</li> <li>• ハンプ設置に関する住民の意向を確認(近隣住民の同意を得て、地域から市へ要望)</li> </ul>
	❖ 現地調査 実施日 2016年8月24日、26日 対象者 関係自治会長 内容 地域の危険箇所の確認、対策案の説明	
	❖ 校区コミュニティ組織(南校区まちづくり協議会) 実施日 2016年12月19日 対象者 校区役員 内容 ハンプ体験会の提案、打診	
	❖ ハンプ体験会 実施日 2017年1月24日 対象者 地域住民、久留米市 内容 可搬型ハンプを用いた走行実演、乗車体験 歩行体験 提示資料 ハンプの標準形状、ハンプ設置条件	
	❖ 地元自治会長協議 実施日 2017年2月14日 対象者 関係自治会長 内容 ハンプ設置に関する今後の進め方	
	❖ 地元自治会役員説明 実施日 2017年3月6日 対象者 関係自治会役員 内容 ハンプの標準形状、ハンプ設置箇所の素案、進め方	
	❖ 地域住民説明会 実施日 2017年3月26日 対象者 関係自治会、設置予定箇所の近隣住民 内容 ハンプ設置に関する概要 提示資料 ハンプの構造、効果の事例、設置検討箇所の現状	
❖ 地域住民からの要望 実施日 2017年4月13日 内容 ハンプ設置に関する要望及び近隣住民の同意		
対策実施 <Do>	❖ 本設置 運用開始 2017年10月 (本設置にあわせて警察と連携し通行方法を周知)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 警察との連携を図ることで効果的に通過交通へ交通方法の周知を行うことができた</li> </ul>
評価 <Check>	❖ アンケート調査 内容 通行のしやすさ、速度の抑制効果、安全性の向上 ❖ ETC2.0 プローブデータ分析 内容 ハンプ設置前後の走行速度調査	
対策改善 <Action>		

## 合意形成における道路管理者からみた特筆事項

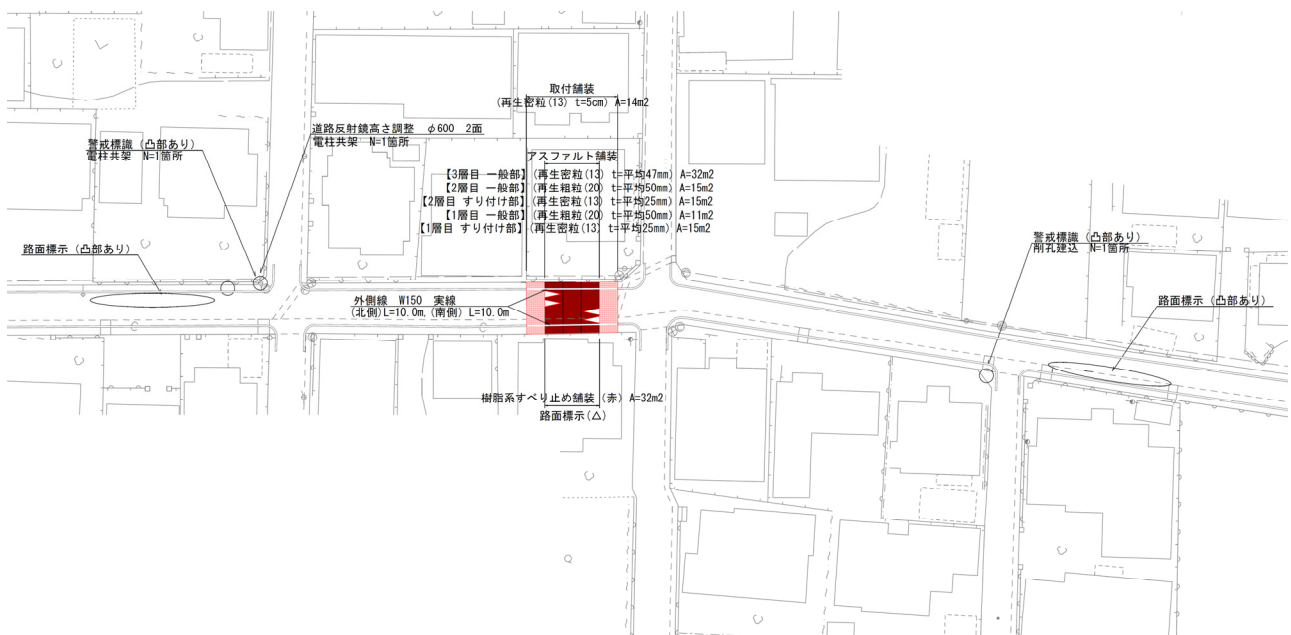
円滑な検討に 結びついた点	◆ 地域主体で物事を進める仕組みができたことにより、その枠組みの中で進めた。
考えられる 今後の工夫	◆ 久留米市では、今後の展開を考慮し、基準に示されていない細部仕様等を独自にとりまとめた。

## その他参考資料

### ❖ 設計図(交差点ハンプ)



### ❖ 設計図(単路ハンプ)



提供：久留米市